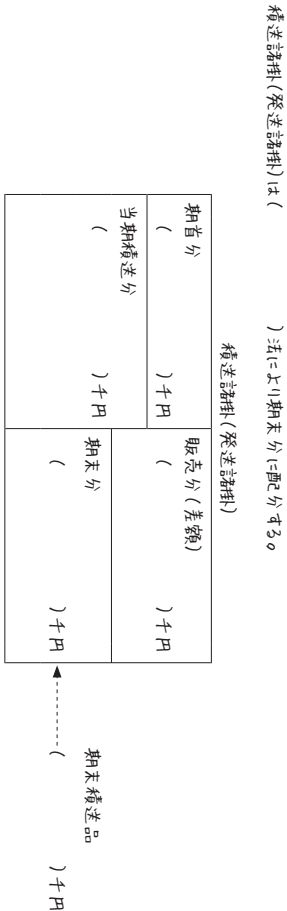
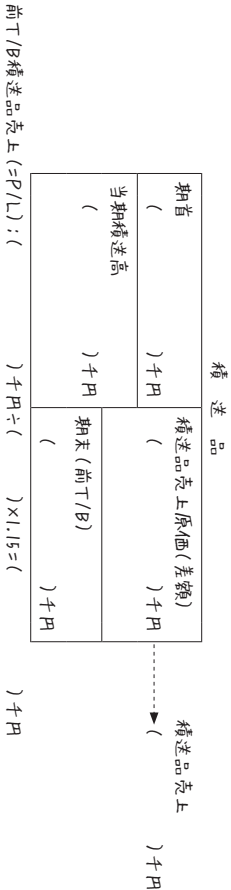
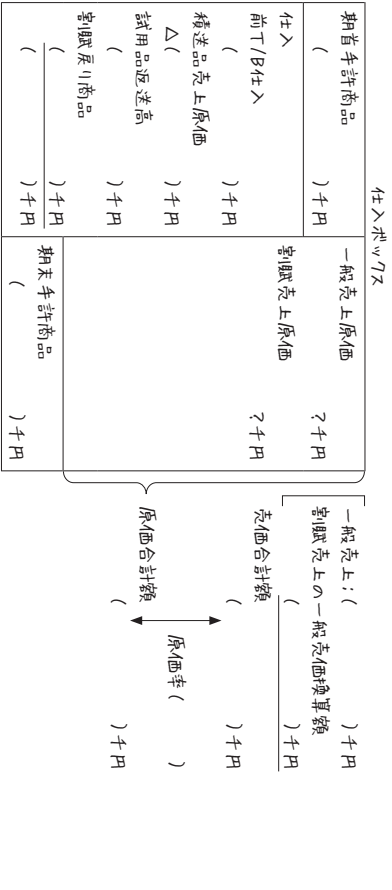


特殊商品販売

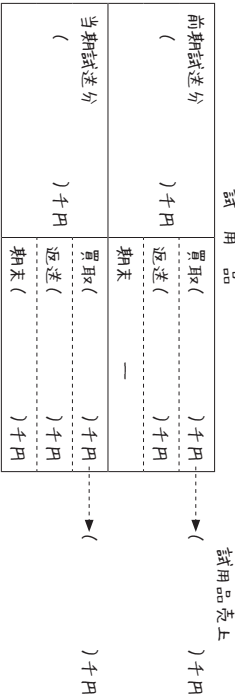
- (1) この問題では、積送品売上と試用品売上が推定の上、計算の鍵になる一般商品販売の原価率が与えられていないため、計算によって求めなければなりません。
- そのため、まず仕入ボックスおよび各特殊商品販売のボックスを書き、それに資料から読み取れる数値を記入していくと、情報が整理され数値が把握しやすくなります。
- (2) 各表に集計された数値をもとに一般商品販売の原価率を算定します。
- 次に算定された一般商品販売の原価率を用いて、各特殊商品販売の売上高の計算を行っています。
- ※ 仕入ボックスの数値記入時には、仕入の中にその都度法によって処理された特殊商品販売の売上原価が加算されていることに注意します。



期末分(繰延積送諸掛)：()千円×()千円
()千円

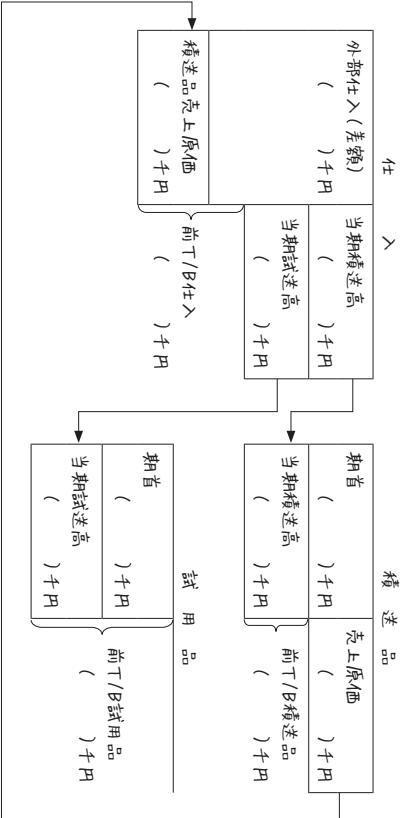
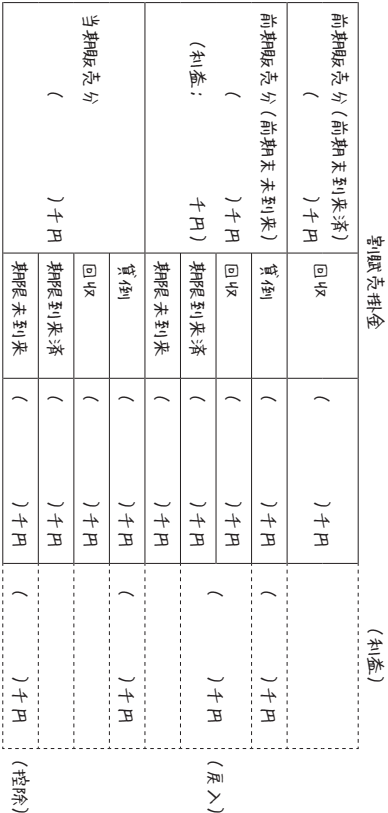
()千円

※ 試用販売は、前期と当期で原価率が異なることに注意します。



前丁/B試用品売上(P/L)：()千円÷()千円÷()千円

※ 割賦販売については、回収期限到来基準のため、下記のような図を描き数値を記入していきます。



P/L当期商品仕入高：外部仕入()千円÷()千円÷()千円

P/L期首商品棚卸高：()千円÷()千円÷()千円

P/L期末商品棚卸高：()千円÷()千円÷()千円

合格アシストノード

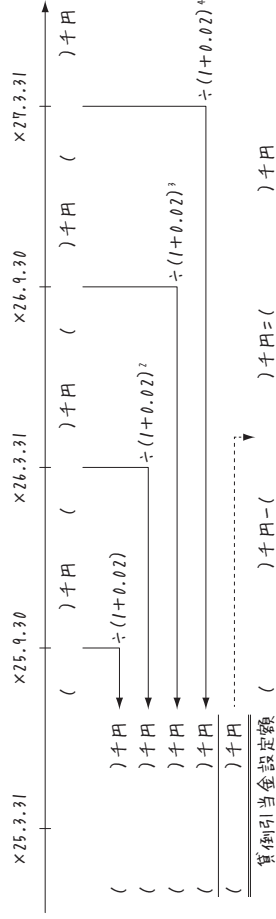
合格アシストノート

貸倒引当金(長期貸付金、キャッシュ・フロー見積法)

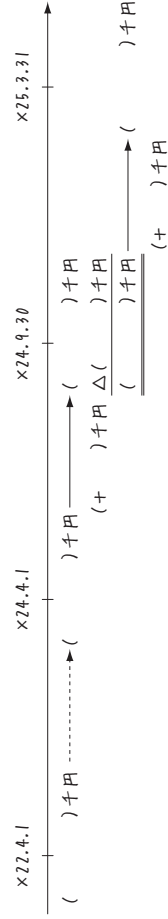
名利率い日における受取利息(条件変更後): () 千円 × () % × $\frac{(\quad)}{(\quad)}$ 月 = () 千円

6ヵ月分の利率(条件変更前): () % × $\frac{(\quad)}{(\quad)}$ 月 = () %

タイムテーブルを書いて、長期貸付金の現在価値を計算し、貸倒見積高を計算します。



社債(買入償還、償却原価法)



<×24.9.30における償却原価法>

実効利息: () 千円 $\times$ () % $\times$ () 千円 $\div$ () 千円 = () 千円 (千円未満四捨五入)
 借入額: () 千円 (実効利息) $-$ () 千円 (約定利息) = () 千円

<×25.3.31における償却原価法>

定額利息：() 千円 $\times$ () % $\times \frac{(\quad)}{(\quad)} = (\quad)$ 千円 (千円未満四捨五入)
 借去額：() 千円 (定額利息) - () 千円 (約定利息) = () 千円

退職給付引当金

年金資産		退職給付債務	
期首 () 千円	年金 () 千円	退職金 () 千円	期首 () 千円
増金 () 千円		年金 () 千円	勤務費用 () 千円
期待収益 () 千円	(差額) () 千円	(差額) () 千円	利息費用 () 千円

数理計算上の差異の把握

退職給付に係る差異：(	千円-(	千円=(	千円(	差異)
年金資産に係る差異：(	千円-(	千円=(	千円(	差異)
当期償却額：(	千円-(	千円)÷(	年=(	千円
PL退職給付費用：(	千円+(	千円-(	千円-(	千円=(
PL				千円)

第2問 株主資本等変動計算書

＜剰余金の配当＞

(1) 積立限度額：資本金の4分の1から準備金の合計額を差し引いた金額

資本金()万円 $\times \frac{1}{4} = ()$ 万円

(2) 配当額の10分の1
()万円－(資本準備金 [)万円＋利益準備金 [)万円＝()万円

資本準備金積立予定額：()万円 $\times \frac{1}{10}$ = ()万円

利益準備金積立予定額；()万円 $\frac{1}{10}$ ()万円

(3) 準備金積立額

資本準備金積立額：()万円× $\frac{()万円}{()万円}$ =()万円

利益準備金積立額：()万円 $\times \frac{()万円}{()万円 + ()万円} = ()万円$

第3問 リース会計

<A機器>

(1) ニース料の回収回数
ニース料総額()千円÷()千円/回=()回

(2) 購入価額
リース料/回分 $\times$ 年金額/係数 = 購入価額
() 千円 $\times$ () = () 千円

(3) リース料の回収スケジュール
(単位:千円、千円未満四捨五入)

回 收 日	回收前元本	回 收 额	利 息	元 本	回收修元本
24.10.1			0		
；	；	；	；	；	；
合 計	一				一

<B機器>

(1) リース料の回収回数
リース料総額()千円÷()千円/回=()回

(2) 購入価額
リース料/回分 × 年金現価係数 = 購入価額
() 千円 × () = () 千円

(3) リース料の回収スケジュール
(単位:千円、千円未満四捨五入)

回 收 日	回收前元本	回 收 額	利 息	元 本	回收後元本
24.9.30					
；	；	；	；	；	；
合 計	一				一

商品販売

<総記法>

A商品のボタンズ図に取引資料よりそれぞれの数値を記入し、期首商品を貸借差額で算定します。

A商品	
期首	仕入戻し
()千円	()千円
総仕入	仕入値引き
()千円	()千円
売上戻り	売上
()千円	()千円
売上値引き	
()千円	
前丁/B	
()千円	

<売価還元法>

B商品ボタンズ(原価)		売価	
期首	期首商品増価高	売上高	
()千円	()千円	()千円	
仕入	当期商品仕入高	期末(帳簿)	
()千円	()千円	貸借差額より	
値上		()千円	
値下△			
(原価法)	()千円	()千円	
(低価法)	()千円	期末(実地)	()千円

原価法原価率： $\frac{()千円}{()千円} = () \Rightarrow () \%$ 低価法原価率： $\frac{()千円}{()千円} = () \Rightarrow () \%$

期末商品の評価

()	商品評価損	()千円	期末商品増価高	()千円
()	B/S 商品	()千円	棚卸減耗損	()千円
		()千円		()千円

外貨建て満期保有目的債券の評価

当期首	当期末償却原価	当期末償却原価
()円	+	()円
CR ()	AR ()	CR ()
()	+	()
		為替差損益()

備品の売却

()	】	(備 品)	】
()	】	】	
()	】	】	
()	】	】	

固定資産の減損会計

<減損損失の認識の判定(帳簿価額と割引前将来C/Fを比べます)>

資産グループE:帳簿価額()千円 割引前将来C/F()千円

資産グループF:帳簿価額()千円 割引前将来C/F()千円

<資産グループ()の減損損失の測定>

減損損失:帳簿価額()千円-回収可能価額()千円=()千円

<共用資産を含む、より大きな単位での認識の判定>

帳簿価額合計()千円 割引前将来C/F()千円

<共用資産を含む、より大きな単位で減損損失の測定>

減損損失:帳簿価額合計()千円-回収可能価額()千円=()千円

共用資産に配分される減損損失:全体の減損損失()千円-()千円=()千円

<減損損失の各資産への配分>

資産グループ()の減損損失の配分

建物:()千円× $\frac{()千円}{()千円} = ()千円$

備品:()千円× $\frac{()千円}{()千円} = ()千円$

共用資産の減損損失の配分

建物:()千円× $\frac{()千円}{()千円} = ()千円$

備品:()千円× $\frac{()千円}{()千円} = ()千円$

為替予約

日付	()	()	()	()	()
レート	()円/円	→	()円/円	→	()円/円
直々差額	()千円		直々差額	()千円	
					()千円

第2問 連結B / S、C / I 作成

(注) 第2間においては、退職給付や先物取引に関する箇所を優先的に解答して下さい。他の箇所に関しては、必ずしも積極的に取り組んでいただく必要はございません。詳細は、解説をご覧ください。

(1) 退職給付の処理

- ① 個別財務諸表上の処理
退職給付費用の計上

(退職給付費用) [] (退職給付引当金) []

税効果会計の適用

$$\begin{array}{c} \left[\begin{array}{c} 1 \\ 1 \end{array} \right] \left(\begin{array}{c} 1 \\ 1 \end{array} \right) \end{array}$$

② 連結修正仕訳

科目の振替え

(退職給引当金) [()]

未認識数理計算上の差異

1	1	$($	1	1	$($	$)$
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

税効果会計の適用

(繰延税金資産) [()]

(2) 国債及び国債失物の処理

- ① 国債(その他の有価証券)

(	)	[	(	)	[
(	)	[	(	)	[

② 国債失物

(先物取引差金)	【	】	(	)	【	】
			(	)	【	】

合格アシストノード

第3問 ソフトウェア

1年目
Aソフトウェア 取得原価 ()千円

- ① 見込販売数量に基づく償却額

$$\frac{(\quad) \times (\quad)}{(\quad) + (\quad)} = \frac{(\quad)}{(\quad)}$$

- ② 残存有効期間に基づく均等配分額

() 千田 ÷ () 年 = () 千田

- ③ 減価償却費 () 千円

Byフトラエア 取得原価 () 千円
1年目

- ① 見込販売数量に基づく償却額

$$\frac{\frac{(\text{) 千円} \times (\text{) 千円}}{(\text{) 千円} + (\text{) 千円}}}{(\text{) 千円} + (\text{) 千円}} = (\text{) 千円}$$

- ② 残存有効期間に基づくと均等配分額

() 千 $\div$ () 千 = () 千

- ③ 減価償却費 () 千円

乙年目

- ① 見込販売数量に基づく償却額

$$\left(\frac{\quad}{\quad} \right) \times \frac{\quad}{\quad} = \left(\frac{\quad}{\quad} \right)$$

- ② 残存有効期間に基づく均等配分額

() 400 ÷ () 400 = () 400

- ③ 減価償却費 () 千円

第2問 工事契約

<工事完成基準>

第2期

工事損失引当金

工事損失：

収益総額()-原価総額()=()

既に計上された損失：

引当金繰入額 ()

<工事進行基準>

第2期

完成工事高

()×()+()+()-()=()

工事損失引当金

工事損失：収益総額()-原価総額()=()

第1期：収益()-原価()=()

第2期：収益()-原価()=()

引当金繰入額 ()

第3期

完成工事高

()×()+()+()-()=()

工事損失引当金

工事損失：収益総額()-原価総額()=()

第1期：収益()-原価()=()

第2期(引当金考慮後)：収益()-原価()=()

第3期(引当金考慮前)：収益()-原価()=()

引当金取崩額 ()

第3問 連結キャッシュ・フロー計算書

<P社 個別キャッシュ・フロー計算書>

売掛金		人件費	
前期末 ()	回収 ()	支出 ()	期首未払 ()
売上 ()	当期末 ()	期末未払 ()	P/L ()

買掛金		売上原価	
支出 ()	前期末 ()	買掛金 ()	期末商品 ()
当期末 ()	仕入 ()	期首商品 ()	P/L ()

P社・キャッシュ・フロー計算書

I 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業収入 ()

商品の仕入支出 ()

人件費の支出 ()

<S社 個別キャッシュ・フロー計算書>

売掛金		その他営業費	
前期末 ()	回収 ()	期首前払 ()	期末前払 ()
売上 ()	当期末 ()	支出 ()	P/L ()

買掛金		売上原価	
支出 ()	前期末 ()	買掛金 ()	期末商品 ()
当期末 ()	仕入 ()	期首商品 ()	P/L ()

S社・個別キャッシュ・フロー計算書

I 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業収入 ()

商品の仕入支出 ()

その他の営業支出 ()

<連結キャッシュ・フロー計算書>

S社に対する売掛金	
前期末 ()	回収 ()
売上 ()	当期末 ()

連結キャッシュ・フロー計算書

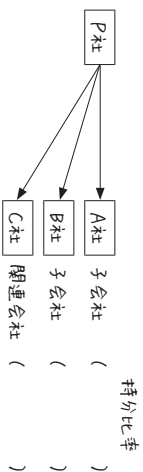
I 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業収入 ()

商品の仕入支出 ()

連結損益計算書における当期純利益	()
P社当期純利益	()
S社当期純利益	()
受取配当金	△()
期末商品の未実現利益	△()
連結損益計算書の当期純利益	()

1. 連結財務諸表を作成するにあたり、企業グループの全体像を把握します。



2. A社の資産・負債の時価評価の仕訳をし、子会社のタイムテーブルを作成します。

$\mathbb{Z}$	$\mathbb{Z}$	$\mathbb{Z}$	$\mathbb{Z}$	$\mathbb{Z}$
$\mathbb{Z}$	$\mathbb{Z}$	$\mathbb{Z}$	$\mathbb{Z}$	$\mathbb{Z}$

[illegible]

P社持分()
投資額()
おれん() Δ () $\rightarrow$ ()
 Δ () $\rightarrow$ ()

3. A社の連結修正仕訳を行います。

(資本金当期首残高)	1	1	(A社株式)	1
(利益剰余金当期首残高)	1	1	()	1
(評価差額)	1	1		
()	1	1		

(2) A社当期純利益の少数株主持分への振替え

Γ	Γ	Γ	Γ
Γ	Γ	Γ	Γ

(3) のれんの償却

[	(	)	[	(	)
---	---	---	---	---	---

(4) A社の剰余金の配当

(	)	【	】	(剰余金の配当)	【	】
(	)	【	】			

(5) 内部取引の相殺消去と未実現利益の消去

① 未達取引(商品未達)の処理

Γ	Γ	Γ	Γ
Γ	Γ	Γ	Γ

② 売上高と仕入高の相殺

$$\left[\begin{array}{ccc} [&] &) \\] & (& [\\] &) & [\\] & (&) \end{array} \right]$$

③ 期首商品に含まれる未実現利益の消去

F	I	)	)	)	)
F	I	)	)	)	)
F	I	)	)	)	)
F	I	)	)	)	)
F	I	)	)	)	)

④ 期末商品に含まれる未実現利益の消去

$\mathbb{F}$	$\mathbb{F}$	$($	$)$	$\mathbb{F}$	$($	$)$
$\mathbb{F}$	$\mathbb{F}$	$($	$)$	$\mathbb{F}$	$($	$)$
$\mathbb{F}$	$\mathbb{F}$	$($	$)$	$\mathbb{F}$	$($	$)$

(6) 手形の処理

L	I	(	)	L	(	)
L	I	(	)	L	(	)
L	I	(	)	L	(	)

(7) 債権債務の相殺消去

(支 手 形) [了]	(受 取 手 形) [了]
(買 掛 金) [了]	(売 掛 金) [了]

(8) 貸倒引当金の修正

(貸倒引当金)	┌	┐	(繰延税金負債)	┌	┐
(	┌	┐	(	┌	┐
(	┌	┐	(	┌	┐

4. B社の資産・負債の時価評価の仕訳をし、子会社のタイムテーブルを作成します。

[illegible]

$$\frac{\begin{array}{c} \text{) + } \\ \text{) } \end{array}}{\begin{array}{c} \text{) } \\ \text{) } \end{array}} \%$$

資本利益評価	()		()
金額差額	()	$\textcircled{A}$	()

()
P 社 持
分 額
の 人

()
()
()
()

△() → ()

5. B社の連結修正仕訳を行います。

(1) 開始仕訳

(资本金当期首残高)	[	]	(B 社 株 式)	[	]		
(溢利余金当期首残高)	[	]	(	)	[	]	
(	)	[	]	(	)	[	]

7. C社の連結修正仕訳を行います。

(1) 開始仕訳

(	)	【	】	(	)	【	】
---	---	---	---	---	---	---	---

(2) C社の当期純利益の計上

(	)	【	】	(	)	【	】
---	---	---	---	---	---	---	---

(3) のおんの償却

(	)	【	】	(	)	【	】
---	---	---	---	---	---	---	---

(4) C社の剰余金の配当

(	)	【	】	(	)	【	】
---	---	---	---	---	---	---	---

8. P社の利益剰余金の当期首残高を計算します。

P社利益剰余金			
剰余金の配当		当期首	
(	)千円	(	)千円
当期末		当期純利益	
(	)千円	(	)千円

第3問 会計上の変更

<×3期>

失入先出法の場合				総平均法の場合			
商品		商品		商品		商品	
期首	(	)	売上原価	期首	(	)	売上原価
仕入	(	)		仕入	(	)	
(	)	期末	(	)	(	)	期末

(2) 子会社株式の追加取得

(	)	【	】	(	)	【	】
(	)	【	】				

(3) B社当期純利益の少数株主持分への振替え

(	)	【	】	(	)	【	】
---	---	---	---	---	---	---	---

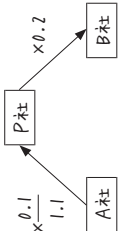
(4) のおんの償却

(	)	【	】	(	)	【	】
---	---	---	---	---	---	---	---

(5) B社の剰余金の配当

(	)	【	】	(	剰余金の配当	)	【	】
(	)	【	】					

(6) 内部取引の相殺消去と未実現利益の消去



① 売上高と仕入高の相殺

(	)	【	】	(	)	【	】
---	---	---	---	---	---	---	---

② P社がB社に付した利益の消去

(	)	【	】	(	)	【	】
(	)	【	】	(	)	【	】

③ A社がP社に付した利益の消去

(	)	【	】	(	)	【	】
(	)	【	】	(	)	【	】
(	)	【	】	(	)	【	】

(7) 土地の売買取引に係る未実現利益の消去

(	)	【	】	(	)	【	】
(	)	【	】	(	)	【	】

6. C社の資産・負債の時価評価の仕訳をし、関連会社のタイムテーブルを作成します。

(	)	【	】	(	)	【	】
(	)	【	】	(	)	【	】

()%
資本金 ()
利益剰余金 ()
P社持分 ()
評価差額 ()
投資額 ()
のれん ()

② ()
③ ()

④ ()
⑤ ()